

クモ目スオウグモ科

## ムロズミノレグモ

*Zoropsis nishimurai* Yaginuma, 1963

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種

環境省：－

**【選定理由】**

全国的に生息がまれである。

**【概要】**

体長メス・オス共に11mm、腹部は比較的長くコオモリグモに似る。1963年八木沼により日本初記録となる。

**【県内での生息地域・生息環境】**

県内では隠岐諸島での記録があるのみ。本州に分布するも関西、中国地方のごく限られた地点での報告のみ。生息環境は不明。

**【存続を脅かす原因】**

不明。

クモ目エンマグモ科

## コマツエンマグモ

*Segestria nipponica* Kishida, 1913

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種

環境省：－

**【選定理由】**

県内では隠岐諸島のみ記録がある。生息がきわめてまれである。

**【概要】**

メス・オス共に体長5－6mm。マツ、スギ古木の樹皮の割れ目に管状住居を作り、入口から数本の糸を引いている。

国内では、本州、九州に分布するが報告例がまれである。

**【県内での生息地域・生息環境】**

県内では隠岐諸島での記録があるのみ。直射日光のあたらないマツ、スギの古木のある所に生息する。

**【存続を脅かす原因】**

古木の伐採。

クモ目マシラグモ科

## テナガマシラグモ

*Leptoneta longimana* (Yaginuma, 1970)

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種

環境省：－

**【選定理由】**

生息がきわめてまれである。

**【概要】**

洞穴産の小型のクモ。脚はきわめて細く長い。洞穴内の暗所にすむが、まれにリター中にみられる。

この仲間は日本の洞穴ごとに特化が認められる。不規則なシート状の網を張る。

**【県内での生息地域・生息環境】**

県内では八束町の洞穴で記録されている。

**【存続を脅かす原因】**

不明。

クモ目ヒメグモ科

## タカユヒメグモ

*Theridion takayense* Saito, 1939

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種

環境省：－

**【選定理由】**

生息がまれである。

**【概要】**

体長3－4mmで小型のクモ。県内では高地にごくまれに生息する。腹背後方に4個の黒点が認められる。

国内では北海道、本州、四国に分布する。

**【県内での生息地域・生息環境】**

県内では中国山地でみられるが、隠岐諸島では平地にもみられる。樹間の地上からそれほど高くないところに複雑網を張る。

**【存続を脅かす原因】**

不明。

クモ目ユウレイグモ科

## タイリクユウレイグモ

*Pholcus opilionoides* (Schenkel, 1781)

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種

環境省：－

**【選定理由】**

県内の産地がまれであり、個体数が少ない。

**【概要】**

体長5mm。イエユウレイグモに似るも小型で胸部に丸みがある。国内では、北海道、本州の高地に分布する。北方系のクモである。

**【県内での生息地域・生息環境】**

県内では隠岐諸島のみで記録されている。隠岐諸島では平地や山地の草間や低木のうす暗いところに不規則網を張る。

**【存続を脅かす原因】**

不明。

クモ目ヒメグモ科

## ムラクモヒシガタグモ

*Episinus nibilus* Yaginuma, 1960

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種

環境省：－

**【選定理由】**

山地にきわめてまれに生息する。

**【概要】**

体長メス4－5mm、オス3mm。腹部は後方で鈍く左右に張りひし形に見える。国内では北海道、本州に分布する。

**【県内での生息地域・生息環境】**

仁多郡鬼の舌震での記録のみである。スリーピングにより採集された。樹間に複雑網を張る。

**【存続を脅かす原因】**

不明。

クモ目コガネグモ科

## ツシマトリノフンダマシ

*Paraplectana tsushimensis* Yamaguchi 1960

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：－

環境省：－

**【選定理由】**

国内で生息がきわめてまれである。

**【概要】**

体長メス7mm。オスは未発見。腹部は強い赤色で多数の黒色円紋がある。

頭胸部と歩脚は黄褐色。南方系のクモで本州では関東以西に分布するが、個体数はきわめて少ない。

**【県内での生息地域・生息環境】**

近年、隠岐（島後）でメス生体1頭が確認された。夜行性。昼は葉の裏に鳥の糞がついたように静止している。

**【存続を脅かす原因】**

不明。

クモ目コガネグモ科

## ヤマトカナエグモ

*Chorizopes nipponicus* Yaginuma, 1963

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種

環境省：－

**【選定理由】**

生息地がきわめてまれである。

**【概要】**

体長メス4mm。普通にみられるヨツデゴミグモに類似する。網は不明。スリーピングによりまれに採集される。

国内では本州、四国、九州に分布する。

**【県内での生息地域・生息環境】**

仁多郡内の山地、県西部で記録されている。樹間に生息すると思われる。

**【存続を脅かす原因】**

不明。

クモ目ハエトリグモ科

## アメイロハエトリ

*Synagelides agoriformis* Strand, 1906

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種

環境省：－

### 【選定理由】

生息がきわめてまれである。

### 【概要】

体長メス・オス共に4－5mm、腹背には山形の白斑2が目立った特徴である。

国内では本州、四国、九州および南西諸島に分布する南方系のクモである。

### 【県内での生息地域・生息環境】

隠岐諸島と県西部で1個体ずつ報告がある。草間の葉上を徘徊する。

### 【存続を脅かす原因】

不明。

クモ目カニグモ科

## カトウツケオグモ

*Phrynarachne katoi* Chikuni, 1955

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：分布限界種 (北限)

環境省：－

### 【選定理由】

県内では隠岐 (島後) の五箇村で2003年8月に野津・吉岡によってメス1個体が記録されたのが初めてである。

続いて2004年2月に美保関町森山、近年では2012年に隠岐 (島前) 海士町で同様な記録がある。しかし、国内では40数個体が記録されたに過ぎない。

### 【概要】

体長メス7－9mm、脚は一部を除いて白っぽい、背甲に小さい突起、腹背には大きい突起が多数あり、その

頂点に1本ずつ毛を生ずる。

国内では本州、四国、九州、南西諸島に分布するがきわめてまれである。

### 【県内での生息地域・生息環境】

樹上生活をしており、葉に静止する様子は鳥のフンにそっくりである。

### 【存続を脅かす原因】

不明。

絶滅  
野生絶滅

絶滅  
絶滅危惧Ⅰ類

絶滅  
絶滅危惧Ⅱ類

準絶滅  
準絶滅危惧

情報  
情報不足

絶滅  
野生絶滅

絶滅危惧Ⅰ類

絶滅危惧Ⅱ類

準絶滅危惧

情報不足